

令和8年4月から「子ども・子育て支援金制度」がはじまります

「子ども・子育て支援金制度」は、全世代や企業のみなさんから支援金を拠出いただき、それによる子育て世帯に対する給付の拡充を通じて、子どもや子育て世帯を社会全体で応援する仕組みです。支援金は医療保険者が徴収することとされており、国民健康保険においても、令和8年度からご負担いただくことになります。

◆なぜ独身者や高齢者も負担する必要があるの？

子育て支援は、子どもたちが健やかに成長していくためのものであり、その子どもたちは将来大人になり、この社会を支える担い手となるため子育て支援は全ての人にとってメリットがあります。

そのため、独身者や高齢者も含む全世代のみなさんから拠出いただくこととしております。

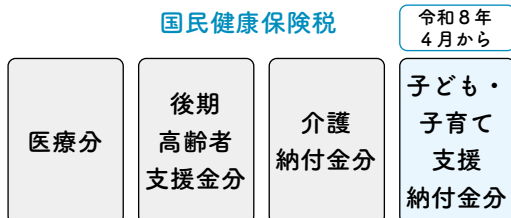
◆子ども・子育て支援金は何に使われるの？

支援金は次の6つの事業に充てられます。

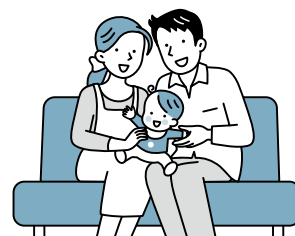
- ①児童手当の拡充
- ②妊婦のための支援給付
- ③こども誰でも通園制度
- ④出生後休業支援給付
- ⑤育児時短就業給付
- ⑥育児期間中の国民年金保険料免除



くわしくは
こちらから



※保険税額は、令和8年6月にお知らせします。



問い合わせ 市民課 保険年金係 ☎0952-75-2159

連
載



内科の紹介

内科では、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、肝胆膵内科、糖尿病内科、一般内科の医師13人が在籍し、日々外来診療を行っています。かぜや体調不良などの日常的な症状から、専門的な診療が必要な病気まで、幅広く対応しています。

患者さん一人ひとりの症状に合わせて、内視鏡検査や超音波検査、CT、MRIなどの検査を行い、わかりやすい説明と丁寧な診療を心がけています。

また、脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓内科については、佐賀大学病院の医師が週1～2回外来診療を担当しています。初めて受診される人には、その日の新患担当医が診察し、必要に応じて専門の医師へご紹介します。急な体調不良や救急の患者さんにも、救急担当医が速やかに対応します。

地域のみなさんが安心して相談できる身近な内科として、これからも誠実な医療の提供に努めてまいります。

次号は
外科・整形外科です

内科／糖尿病内科

糖尿病内科

糖尿病分野、内分泌分野、
公衆衛生分野、産業衛生分野

- たかぎ 高木 佑介 (診察日:火(午前)、
水(午前)、木(午後)、金(午前))
やまぐち 山口 美幸 (診察日:月(午前)、木(午前))
なかがわち 中川内 玲子 (診察日:月(午後))

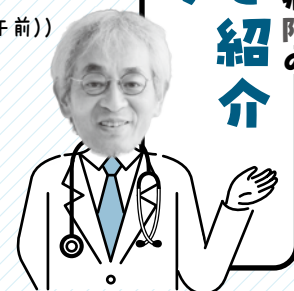
当院の糖尿病外来は高木、山口、中川内の3人の専門医で診療を担当しており、入院は高木が担当しています。

糖尿病分野は、インスリン治療を含む専門的な治療のほか、栄養指導などの療養支援や各種合併症の検査も実施することができます。内分泌分野は、甲状腺疾患が主ですが、その他の疾患も佐賀大学病院と連携して診療を行っています。

特に、糖尿病は経過が長い疾患であり、かかりつけの医療機関がある場合には紹介状を持参の上でご来院ください。



医師を紹介 します



院長 佐藤 清治

公立病院としての役割を
果たすべく既存の診療を
更に強化し新たな診療科
を追加しました。
このコーナーでは各診療
科の医師をご紹介します